

議事概要記録

開催日時	平成 26 年 1 月 18 日 14 時 00 分～16 時 00 分	開催場所	和歌山医師会成人病センター研究室
会議種別	平成 25 年度 第 6 回理事会	議長	竹中 正人
		書記	田中 規仁
出席者 〈敬称略〉	玉置 達紀、竹中 正人、畑 忠良、木下 博之、大石 博晃、田中 規仁、 蓬台 克之、丸澤 佳子、栗林 伴有、瀧口 良重、今西 数彦、瀧谷 雅彦、脇村 小津江、 村田 正吾、勝山 浩樹 15名		
欠席者 〈敬称略〉	田中 久晴、須賀 洋、	オブザーバー	石田 茂己 (35 回和学会実行委員長)
次 第			
議事概要	報告事項		
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 2. 事務局報告 3. 学術部報告 4. 経理部報告 5. 各種委員会報告 <ol style="list-style-type: none"> (ア) 公益事業活動 (イ) 定款・渉外 (ウ) 精度管理 (エ) データ標準化 (オ) 会誌編集 (カ) ホームページ (キ) 会報・行事予定 6. 連盟 7. 第 35 回和歌山県医学検査学会進捗報告 8. その他 		
	審議事項		
	平成 26 年度事業計画案と予算案について		
	<ol style="list-style-type: none"> ① 検査説明・相談のできる臨床検査技師育成 ② 公益事業 <ol style="list-style-type: none"> 1. 第 15 回医療セミナー in 和歌山 2. 乳がん啓発事業 3. HIV/AIDS+STI 啓発事業 ③ 学術部 <ol style="list-style-type: none"> 1. 第 17 回学術部一泊合同研修会 2. 学術部研究班勉強会 3. 平成 26 年度和歌山県精度管理事業 4. 会誌和臨技 5. 和歌山県臨床検査技師会 緊急時連絡規約 ④ 事務局 <ol style="list-style-type: none"> 1. 行事予定表 2. 和臨技会報 63 号・64 号 3. 和臨技ホームページ運営 4. 平成 26 年度 全国健康と検査展 和歌山会場 5. 平成 26 年度 和臨技オリエンテーション 6. 総務 		

⑤ 経理部

1. 平成 26 年度予算案

冒頭、会長より挨拶があった。

報告事項

会長報告

日臨技関連について、1月25日に日臨技全国幹事会が開催される。ここで年始に各府県から提出された質問状に対しての日臨技からの見解が得られるとの事であった。

近畿支部関連について、兵臨技富永会長が褒賞され、祝賀会に竹中副会長が代理出席すると報告があった。

和臨技関連では、1月15日に和歌山県庁正庁の間で村田監事への医療従事者功労者賞贈呈式が行われた。

他団体関連では他職種間協同による在宅医療推進研修会に参加した。また、和歌山県医療推進協議会による研修会・決起集会・交流会に参加したと報告があった。

事務局報告

11月平成26日に勝山氏の保健衛生医事功労知事感謝状贈呈式通知が執り行われた。

12月6日から3日間、日臨技主催で説明・相談ができる臨床検査技師育成企画担当者講習会が開催され、当会より竹中副会長を派遣した。

12月9日に村田監事への和歌山県医療従事功労者賞謹呈通知があり、1月15日に県庁正庁の間において謹呈式が執り行われた。

学術部報告

平成25年度推進事業は20回採用されたとの報告があった。

2月22日に班長班員会議を行う予定で、平成26年度研究班勉強会が企画決定される予定であると報告があった。

4月平成26日の和臨技オリエンテーションにて、学術部ミニレクチャーを予定しており、微生物・細胞病理・免疫血清・輸血の2班から予定しているとの事であった。

第17回学術部一泊合同研修会を、和臨技オリエンテーション→和臨技総会→合同研修会の流れで行いたく、次年度は6月21日に開催予定であると報告があり、引き続いての次年度事業計画案審議の場において審議して頂きたいとの申し出があった。

経理部報告

特になし

第35回和歌山県医学検査学会進捗報告

1月15日に抄録集の入稿を済ませ印刷を開始、1月下旬には会員に配布が完了との報告であった。また、1月16日には座長に対し一般演題の座長委嘱状と担当抄録を配布した。

宿泊者について、17日現在45名との事であった。入金情報については3社を残すのみとなったとの事である。

学会前日及び当日のスケジュールについて説明があった。閉会式の中で次年度36回学会の開催についての挨拶を入れる事とした。また、第36回学会は紀中地区担当と決定された。

決議事項
及び
継続事項

学会での PC 等使用機材については、会場側と学会側で確認を取る様にと申し出があった。また、生涯教育履修についても確認しておくようにとの指示があった。

各種委員会報告

(ア) 公益事業活動

特になし

(イ) 定款・渉外

特になし

(ウ) 精度管理

和臨技サーベイ速報報告において、病理部門報告用紙に施設名が標記されてしまった不具合があったとの報告があり、今後はこの様な事が起こらないような対策と管理体制を徹底するとの報告と謝罪があった。

(エ) データ標準化

基準検査室向けの試料測定がこの 1 月と 7 月で終了との報告があり、今後の予定は未定との事であった。(なお、使用された試料については、日臨技から値付けされ市販される方向性に進んでいるとの報告があった)

(オ) 会誌編集

1 月 10 日に会誌編集委員会が開催され、第 41 巻は論文 7 編・報告 5 編であった。1 月 27 日に校正後の最終チェックを行い、2 月末の 3 月行事予定表と共に発送予定であるとの報告であった。発行部数は 410 部とした。

日臨技論文投稿規定を参考に、次年度からはキーワードを入れるなどの日臨技規定を参考に会誌編集を進めていきたいとの報告があった。

なお、表彰審査に向け、可及的速やかに論文原稿を審査委員へ配布して頂きたいとの申し入れがあった。

(カ) ホームページ

特になし

(キ) 会報・行事予定

特になし

7. 連盟

1 月 24 日連盟連盟位執行委員会が開催されるとの報告があった。向こう 2 年間の執行委員承認があり、現時点では次の担当が未定なため脇村執行委員で承認をうけたのち、次期役員が決まった時点で継続もしくは交替するとの事であった。

組織強化がうたわれているので、加入者を増やし、ブロック活動する方向の様であるとの報告であった。

8. その他

表彰審査委員会より報告があった。平成 25 年度会長賞には会誌和臨技第 41 巻より、学術奨励賞は第 35 回和歌山県医学検査学会より選出すると報告があった。

審議事項

平成 26 年度事業計画案について

① 検査説明・相談のできる臨床検査技師育成 (日臨技委託事業)

平成 19 年 12 月、厚労医政局長から日臨技に対し、採血・検査説明に関しては保助看法および臨床検査技師法により保健師・助産師・看護師並びに臨床検査技師が医師の

指導のもとで行う事と定義されているが、医師や看護師のみで行われている実態が指摘された。

採血に関しては既に積極的に行われているが、検査説明に関しては出遅れているとの反省点から今後、日臨技事業として検査説明が出来る技師の養成を全国的レベルで向こう3年間行う事になった。まず、各都道府県から1名を参集（和臨技からは竹中副会長）し、講習会を行った上で同事業の指導者として委託した。

和臨技では施設連絡者会議にて本事業の概要を説明し、和臨技定期総会で伝達講習を行い、8月末に1泊2日の日程にて「査説明・相談のできる臨床検査技師育成講座」を開催したい旨の事業計画案・予算案が申請された。

<質問>

- ・向こう3年間で重複受講は可能か？ ⇒ 問題は無い
- ・和歌山で行っている施設は？ ⇒ 無いと考える。仮に行っていても、検査項目や結果に対する説明用紙の配布レベルであろう
- ・心電図の所見を言及しトラブルに ⇒ 診断を言及しない様に注意する必要がある
- ・施設間で説明内容の開きが出る可能性は？ ⇒ 相談事例を和臨技全体で共有すべきである

引き続き竹中副会長より補足説明が有り、理事会にて全員一致で承認された。

②公益事業

1. 第15回医療セミナーin和歌山

平成26年11月8日に『「せき、たん、息切れ」貴方の肺は大丈夫?』としてCOPDと肺癌早期発見の啓発活動を中心としたセミナーを和歌山県立医科大学附属病臨床講堂Iで医師による講義と、和歌山県立医科大学附属病院中央検査部でスパイロの無料検査を実施する旨の事業計画案と予算案の申請があった。

本事業計画案・予算案は理事会にて全員一致で承認された。また、検査に関して以前の様な不具合が無き用にとの申し入れがあった。

2. 乳がん啓発事業

例年では紀北と紀南での開催であったが、今年度は紀南（熊野本宮）のみの開催とした事業計画案と予算案の申請があった。理事会にて全員一致で承認された。

3. HIV/AIDS+STI 啓発事業

平成25年度同様に和歌山大学際で「世界エイズデー和生大生および青少年への啓発活動」としてVCTによる迅速抗体検査および啓発ミニ講演会を事業計画している。

青少年へのHIV/AIDS+STI出前啓発活動として、和歌山県下の高等学校・大学・専修（専門）学校に対しても要請があればいつでも会員を派遣できる体制を整える事とする2つの事業計画案と予算案が申請された。一部、予算案科目名の不備が指摘されたが2つの事業については理事会全員一致で承認された。

③学術部

1. 第17回学術部一泊合同研修会

6月後半に、平成25年度同様にみなべの国民宿舎で企画と説明があった。平成26年度も受益者負担を含めた収支予算案について説明が有り、理事会にて全員一致で承認された。

2. 学術部研究班勉強会

9 研究班に対し 1 班あたり 10 万で予算化している事、参加費を取り各班で運営する事、余剰金は一般会計に返納する事、等々の説明が有り、理事会にて全員一致で承認された。

また、一部の行事開催後に参加登録処理をしてないものが見受けられると指摘が有り、学術部長が班長に対して指導するとの回答であった。

3. 平成 26 年度和歌山県精度管理事業

平成 25 年度は試料発送に遅延が生じたため、次年度は若干早めるとの事であった。予算について 17 万円程度増加しており、その殆どは市販品の試料購入費であるとの説明であった。平成 25 年度は経費削減のため、ボランティア採血由来の試料を用いたが、異常域の調整が困難で有る事や、再サーベイが実施出来ない等の理由により、市販品購入の要望と説明があった。

学術部長より、24 年度同様の予算案（平成 25 年度は緊縮財政により予算を大幅に削減したが、本来の予算案に戻った）であるとの補足があった。理事会にて全員一致で承認された。

4. 会誌和臨技

A4 サイズに拡大するため経費増加が懸念されたが、誌面が大きくなった分、項数が減るため、大きく変わらないであろうと言う説明と、24 年度 40 巻の経費を目安に広告収入範囲内で収まる見込みとの説明があった。会誌については理事会にて全員一致で承認された。

5. 和歌山県臨床検査技師会 緊急時連絡規約

学術部長より緊急時、災害等における技師会活動の中止の判断と連絡方法についての緊急時連絡規約（案）が示された。理事会では内規に含めると言う事で承認された。

④事務局

1. 行事予定表

平成 25 年度の実績を元に予算化しているが、行事予定表を輪転機による印刷で行う。よって、印刷費の経費削減が見込まれると説明があった。

2. 和臨技会報

63 号・64 号の 2 号発行を考えている。項数削減が見込まれるので平成 25 年度よりは経費削減が見込まれるとの説明であった。

3. 和臨技ホームページ運営

容量増加に伴うため、50MB 増加が申請された。

行事予定表・和臨技会報・臨技ホームページの広報関連については理事会にて全員一致で承認された。

4. 平成 26 年度 全国健康と検査展 和歌山会場（日臨技指定事業）

ポスター 3 枚の予算で申請、パネル形式作成の予定。医療セミナー in わかやまと同時開催とする説明と申請があった。理事会にて全員一致で承認された。

5. 平成 26 年度 和臨技オリエンテーション

和臨技新規加入者、再加入者、施設内異動者や和臨技会員に対し日臨技加入促進・和臨技事業説明・連盟の紹介と入会勧誘、和臨技会員の親睦を目的に企画。

また、学術部と共同で新卒者・施設内異動者向けのミニレクチャー開催や学術部合同研修会へ参加促進を目的に行う事と説明があった。平成26年度は総会前の4月下旬開催とした。理事会にて全員一致で承認された。

6. 総務

総会議案書、封筒等の印刷費、会長賞・学術奨励賞・永年勤続の副賞、その他慶弔費を含めた予算を計上した。

新たに、20代の若い世代を対象とした若手の学術奨励賞（仮称）を設ける提案があった。表彰審査委員会で草案を作成し理事会にて審議ののち、可能であれば平成26年度事業（第36回和歌山県医学検査学会等で）から適応としたいとの提案があった。

総務費については理事会にて全員一致で承認された。

⑤表彰審査委員会

表彰審査委員会にて、和歌山県臨床検査技師会 医療従事者功労賞・知事感謝状推薦基準（案）について審議した内容を表彰審査委員長から説明が有り、内規として盛り込む旨を理事会において全員一致で承認された。

また、平成26年度の医療従事者功労賞は大石経理部長を、知事感謝状については須賀理事を推薦したいとの申し出が有り、理事会にて全員一致で承認された。

⑥平成26年度予算案

平成26年度予算について、見込み収入と事業計画案による見込み支出について大石経理部長から詳細な説明があった。また、収支決算報告についても、一般社団法人としての明瞭化をめざすためには、専門家と顧問契約を結び指導を仰ぐ必要性から、新たに顧問契約料を予算計上した旨の説明が会長より補足があった。

予算案については全会一致で理事会承認を得た。

記録作成	平成26年1月30日	氏名	田中 規仁	提出	平成26年1月30日
------	------------	----	-------	----	------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可